

抗 GFP 抗体, ウサギ抗血清

商品コード	60-011
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.05%アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	リコンビナント His-tagged EGFP
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	GFP, EGFP, EmGFP および GFP-tagged タンパク質
特記事項	N/A
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (1/2,000 希釈) 2. 免疫沈降 3. 蛍光免疫染色及び蛍光免疫組織染色 (1/4,000)
背景	Green fluorescent protein (GFP) は 238 アミノ酸 (26.9 kDa)から成り、もともとはオワンクラゲ <i>Aequorea victoria</i> より分離されたタンパク質で、青色光で励起された場合緑色の蛍光を発する (文献 1)。細胞生物学、分子生物学の分野では、GFP 遺伝子を他のタンパク質遺伝子と融合させ、融合タンパク質の分布や発現を調べることができるため、GFP は有力なツールとなっている (文献 2.3)。
Data Link	UniProtKB P42212 (GFP_AEQVI)
関連商品	60-001 抗 GFP 抗体、ラットモノクロ (1A5)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 60-011 抗 GFP 抗体, ウサギ抗血清

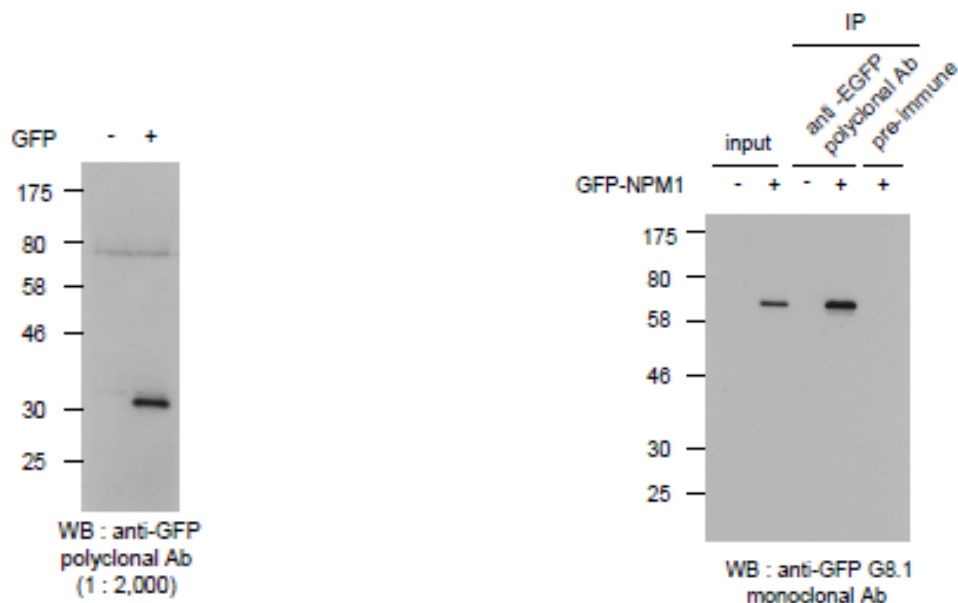


図 1 GFP タンパク質のウエスタンブロッティング

-: 空のベクターをトランスフェクトした 293T 細胞の抽出液
+: GFP 遺伝子を担っているプラスミドをトランスフェクトした 293T 細胞抽出液

図 2 GFP-Tag をつけた NPM1 タンパク質の免疫沈降とウエスタンブロッティング

-: 空のベクターをトランスフェクトした 293T 細胞抽出液
+: GFP-tagged NPM1 遺伝子を担っているプラスミドをトランスフェクトした 293T 細胞抽出液

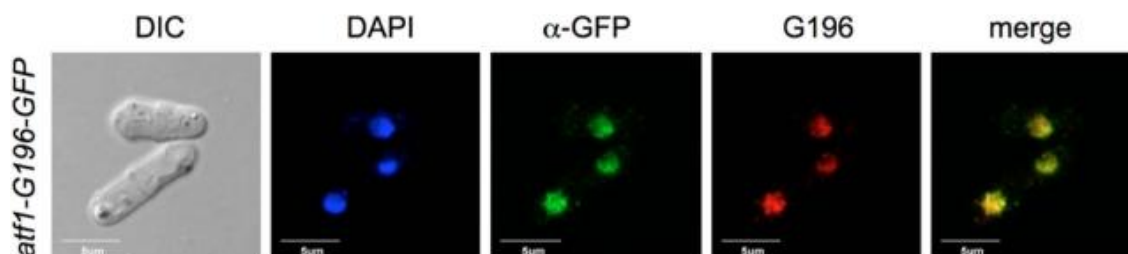


図 3 GFP-と G196-タグをつけた核タンパクを発現させた分裂酵母の免疫蛍光染色 Atf1-G196-GFP expressing cells were fixed and incubated with mAb G196 and anti-GFP polyclonal Ab (BioAcademia 60-011), then stained with Alexa-594 anti-mouse and Alexa-488 anti-rabbit secondary antibodies. (This figure is taken from Fig 5 of Tatsumi et al, [Sci Rep.](#) 2017 Mar 7;7:43480 as cited in Reference)

文献: 本抗体は下記の論文で使用されている。

Tatsumi K et al, G196 epitope tag system: a novel monoclonal antibody, G196, recognizes the small, soluble peptide DLVPR with high affinity. [Sci Rep.](#) 2017 Mar 7;7:43480. PMID: [28266535](#).